

## 令和5年4月定例教育委員会 会議録

- 1 日 時 令和5年4月28日(金) 開 会 午後4時00分  
閉 会 午後5時00分
- 2 場 所 下諏訪総合文化センター 講習室
- 3 出 席 者 松崎泉教育長、藤澤美樹教育長職務代理者  
瀬切陽一教育委員、網野美秀教育委員、木村一恵教育委員
- 4 事務局(説明員)  
岩波洋課長補佐兼生涯学習係長、塚原浩課長補佐兼スポーツ振興係長、  
平澤暁俊教育総務係長、平林美香図書館長、田中慎太郎健康サポート係長  
森下静花子育て支援係主査

## 令和5年4月定例教育委員会 次 第

令和5年4月28日(金)

下諏訪総合文化センター2階 講習室

- 1 開 会
- 2 会議録署名委員の指名
- 3 教育長報告
- 4 付議事項
  - (1) 議案第34号 令和5年度下諏訪町教育委員会指導目標・指導の重点について
  - (2) 議案第35号 令和5年度・6年度下諏訪町公民館運営審議会委員の委嘱について
  - (3) 議案第36号 令和5年度分館長、副分館長及び分館主事の委嘱について
- 5 報告事項
  - (1) 令和4年度図書寄贈の報告について
  - (2) 令和5年度下諏訪町教育委員会会計年度任用職員の雇用について
  - (3) 保育園児数の推移について
  - (4) 令和5年度下諏訪町スポーツ推進審議会の欠員に伴う後任委員の委嘱について
  - (5) 高浜健康温泉センター 温泉ポンプ修繕の完了について
  - (6) 町内小学校における「運動会必勝塾」の開催について
  - (7) その他
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

【会議録】 議事の内容

- 1 開 会 松崎教育長
- 2 会議録署名委員の指名 網野美秀教育委員、木村一恵教育委員
- 3 教育長報告
- 3 (月) ○AtoZ 挨拶来訪；新 ELT（北小・下中）
- 5 (水) ○家庭婦人バレーボール役員来訪  
○JA バンク 食農教育応援事業補助教材「農業とわたしたちの暮らし」寄贈  
○スポーツ推進委員会委員委嘱；12 名の委員に辞令交付（任期は 2 年間）
- 6 (木) ○AM 中学校入学式、PM 小学校入学式  
○PTA 連合会長、子育て委員長来訪
- 7 (金) ○町校長会；第 1 回目 顔合わせ及び各係の業務内容を確認。
- 9 (日) ○相楽会 155 年祭
- 11 (火) ○下諏訪地区人権擁護委員挨拶来訪  
○町村教育長会代議員会；佐久穂町茂来館
- 12 (水) ○だっこの部屋；委員長等委嘱  
○新入社員歓迎大会  
○南信教育事務所来訪  
○諏訪地区保護司会下諏訪分区長来訪
- 13 (木) ○大和電機工業専務、女子ソフトボール部長来訪  
○クローズアップしもすわ編集会議
- 14 (金) ○議員感謝状贈呈式  
○PTA 連合会代議員会挨拶
- 17 (月) ○諏訪養護学校、花田養護学校コーディネーター来訪  
○県・市町村教委連絡協議会；県からの施策説明  
○市町村教委代議員会
- 18 (火) ○全国学力・学習状況調査；小学 6 年生、中学 3 年生対象  
○しもすわガーデンプロジェクトカンファレンス会議  
※ 各校で例年通りに苗を育て 7 月 22 日の夏休み前にマリーゴールド頒布会を予定。
- 19 (水) ○町教頭会；本年度の中心的取り組み、重点課題について説明  
○南小放課後子ども教室開所式
- 21 (金) ○北小 50 周年記念 依田知絵美さんコンサート  
○市町村対抗駅伝競走大会結団式
- 25 (火) ○下中修学旅行～27 日；奈良・京都方面
- 26 (水) ○社中修学旅行～28 日；奈良・京都方面  
○北小放課後子ども教室開所式
- 27 (木) ○「人権の花」運動開始式  
○分館長主事会

【以下予定】

- 28（金）○八島湿原安全祈願祭  
○定例教育委員会  
○なぎがまCS運営委員会
- 29（土）○三角八丁

質疑なし—了承

#### 4 付議事項

- (1) 議案第34号 令和5年度下諏訪町教育委員会指導目標・指導の重点について  
《松崎教育長》説明

ずいぶん長い内容になっていますけれども、要点的なところだけお話しします。あとは今までの経過も踏まえて全部まとめをしてありますので、特に重点のところは重点の項目及び令和5年度の取り組みあたりを目で追っていただければいいと思います。8ページのところでは真ん中になります。教育目標の具現化に向けて大切にしたいことということで、これは私が特に大事にしてきたことです。

①にありますように、子供たちの側に立った支援のあり方を探り、個々に応じた支援を考え続ける中で、子供たちの言動に学びながら、支援者としての自分を変えていくこと、これが力量を高めることという持論ですが、ぜひ、子どもたちの側に立つということは、保護者の側に立つとか、地域の皆様の側に立つとか、ご家族の皆様の側に立つと、そういうことを全て含めて、相手意識を持って自分のあり方を常に考えながら、意識改革をしていこうという、そういう考え方を中心にしています。

そして②にありますように、良いところを少しずつ伸ばしていこうということで、できないことをできるようにさせるというのではなくて、できたことを大いに認めることを繰り返す中で、一人一人の子どもたち、または関わる方たちが、自尊感情を高め、自立と社会参加に向けた生きる力を育ててほしいというふうに願っています。3番目になりますが、今いろいろな課題があるのですが、特に迅速の対応を求められたときには、誠意を持って対応する中で、信頼関係を高める、そういうことが大事だということです。要するに、今日起きたことは今日のうちに対応しないと、やっぱりいろいろ問題が大きくなってしまふことがあるので、厳しい強い意見を言われたとしても、しっかりお話を聞きながら、これはお互いの信頼関係を深めようとしての、そういう立場で、ぜひ傾聴、話を聞くことを大事にしながら、私達自身が意見を述べる前に、相手の話をよく聞いて一緒に考えていこうということを大事にしていくことによって、ぜひ素敵な笑顔あふれる保育園・学校・地域を目指したいと、これは私が一貫して考えている今までのあり方でございます。

重点が15ほどありますが、重点のみ申し上げます。

まず、重点の1が小中一貫教育の充実ということです。特に下の四角の中にありますように4校の教職員の成長に向けて①、それから②として下諏訪町コミュニティスクールを大事にしようということ、それから③として、12月2日にあります元気なしもすわっ子の学びの発表会ですね、これは7年目でありますけれども、ぜひ各学校の子どもたちの様子を発信し、多くの方に下諏訪町の子どもたちと学び、地域との関わりを知っていただきたいという会ですので

今年も発信していきたい。

10ページです。重点2、小中一貫英語教育の充実、重点3、JAXAとの協定による宇宙教育事業の推進ということで、今JAXA離れといいますが、なかなか連携がとれてないところがありますので、信州大学の工学部の航空宇宙システムの研究ということで連携の協定を締結いたしました。佐藤拠点長さんとともに今年は下中でロケットを打ち上げてみようみたいな形で進めていかれるかと思えます。

11ページ重点4、家庭読書の日の推進。12ページ重点5、これは地域・郷土に根ざし、郷土を生かす探究的な学習の推進、総合的な学習の中で進めましょうということです。

13ページ重点6、特別支援教育CO連絡会の充実から「しもすわっ子応援事業」ですが、これは私がこの立場なる前から進めてきたことで、6年ばかりやってきたんですけど、各部署間の連携がスムーズに動いてきていますので、発展的解消として、コロナのこともありまして去年、一昨年、特に動いてはいませんが、今後の状態を見ながら連絡会等、必要なところでやっていく予定でございます。

14ページ重点7、挨拶運動の推進。重点8、下諏訪ガーデンプロジェクトの推進。

15ページにいきまして、重点9として下諏訪町コミュニティスクール。

16ページ重点10、これは家庭教育推進事業としての「めざせ!!元気なしもすわっ子」のリーフレットを各ご家庭に配ってございます。これを基にした取組みです。

それから17ページ重点11、小中一貫キャリア教育の推進。

18ページ12番のGSM元気なしもすわっ子学びの発表会というのは、先ほどお話をさせていただいてありますが、全体の会議から子どもたちの発表に変わってきたということで理解いただければと思います。

それから20ページ重点13、下諏訪未来議会。21ページ重点14、下諏訪町いじめ等対策連絡協議会、本当に委員の皆様には熱心に取り組んでいただいております。

最後に22ページ重点15、中間教室について、図書館でスマイル教室をやっておりますが、杉山先生を中心に不登校の子どもたちに通っていただきながら、学校に出ていける力を溜めているということです。この教室で実績を積み重ねながら、大事にサポートしていきたい。

以下、24ページ、25ページについては、また確認いただければと思います。

#### ・各係、担当する箇所を順次説明

##### 〈森下主査〉子育て支援係の説明

1の子育て支援のねらいでは、「次世代を担う子どもの健全育成を図るため、第2期の子ども・子育て支援事業計画に基づく諸施策を推進し、地域に根ざした積極的な子育て相談の実施や情報の提供を行うとともに、関係機関との連携を深め、安心して子どもを産み育てることのできるより良い環境づくりに努める。」としました。

2の指導の重点はひし形が4つありますが、(1)子育て支援体制の整備充実の①健やかに産み育てる環境づくりの、◆児童手当の給付、◆新生児子育て支援品の給付、◆燃やすごみ袋の支給、◆ひとり親世帯等児童激励金の支給は全て継続事業となっています。

なお、昨年まで実施していた誕生祝金につきましては、保健福祉課で今年度から1人当たり10万円が支給される出産準備・子育て応援交付金事業が開始されたことに伴いまして、廃止となっております。従いまして、3つ目の四角になる「燃やすごみ袋の支給」の説明にある「誕生

生祝金の支給」に併せて、」は、恐れ入りますが、取消線で訂正をお願いします。

また、ひとり親世帯等児童激励金につきましては、これまで対象児童が小学校又は中学校へ入学の際、1万円を激励金に加算しておりますが、学生服などの購入や部活動など出費が増える中学校へ入学する際は、1万円から2万円に増額し換算することとしております。

次に27ページになります。

②子育て家庭を支援する仕組みづくりの、◆子育て応援カード事業の拡充、◆子育てガイドブックの発行、◆子育て支援相談事業の充実、◆子育て支援講座の充実、◆学童クラブの充実、◆しもすわ子ども人権ネットワーク会議の推進、こちらも継続事業となります。

(2) 保育の充実では、保育の質的充実を図り、子育ての悩み、育児相談などができる環境づくりに努め、新保育指針の目指す方向を共有して、より質の高い保育の実現に努める。少子化と相反し、未満児保育の利用者は増加傾向にあるため、ニーズに合わせた受け入れ態勢の整備も検討していくとしています。続きましてページをおめくりいただいて①から⑩までは、昨年同様充実すべき項目であり、昨年同様となっています。

なお、⑧では、今年度から新たに、次年度、小学校への就学を控える年長5歳児で、集団生活が苦手な子や、日常生活で気になるお子さんを月1回、保護者と一緒にせせらぎ園へ来てもらい、作業療法士の指導の下、集団生活に慣れてもらう支援事業のびのびクラブを始めております。

(3) 子どもが育つ環境づくりの、子どもと子育て家庭にやさしいまちづくりとしては、児童の体験の機会や安全で安心して集える居場所づくりを積極的に推進してまいります。①みんなの遊び場の充実、②放課後子ども教室の推進、③児童遊園地の整備を進めてまいります。

29ページの、(4) 青少年健全育成事業の推進では、豊かな子ども時代を過ごすための社会づくりを進めてまいります。①次代を担う心身ともにたくましい人づくりでは「小学生からお年寄りにお便りの贈呈」などの事業、②青少年施設等の利用促進、③いずみ湖研修の家・キャンプ場の開設、④海の家の利用促進などすすめてまいります。⑤小中学生の温泉施設利用奨励につきましては、町内小中学生に町内の公衆浴場の無料入浴券2回分を配布し、町内の温泉に親しんでもらうように利用を奨励して、下諏訪温泉に対する意識の醸成を図ってまいります。

#### 〈平澤係長〉教育総務係の説明

1、学校教育のねらいでは、これまでと変わらず心身ともに健康で豊かな人間性や社会性のある児童生徒の育成を目的に、学校と連携した施策を進めてまいりたいと考えております。

2、指導の重点では、(1)から(8)の施策を推進してまいります。(1)施設的环境整備については、ご覧の施設の整備、物品の購入を行ってまいります。また、学校規模に応じて、教材備品の予算を配分してありますので、先生方の判断により教材の更新を行ってまいります。

(2)教育支援の充実ですが、全ての事業において継続した取り組みを実施してまいります。

中間教室（スマイル教室）は、昨年度最大7名の児童生徒を指導しており、今年度は4名の児童生徒が登録しスタートしております。その4名の児童生徒がまずは、中間教室を継続して通室していただきながら、ゆくゆくは学校への通学ができるよう願うばかりであります。発達障害等児童生徒支援事業では、4校合わせ総勢15名の体制できめ細やかな対応を図って参ります。LD等通級指導教室の充実では、昨年度教室を開設し、2年目を迎えました。様々な

ケースに応じた専門的な教材を要するため、さらに指導に必要な教材を取り揃えていきたいと考えています。

(3) 国際理解教育、情報教育の推進になりますけれども、外国語指導補助事業では、これまで派遣いただいている A to Z の令和 6 年度までの長期派遣契約が締結されています。下諏訪の英語教育を十分理解いただいている派遣業者でありますので、これまでと同様に連携を図りながら推進してまいります。情報教育の推進では、導入した「学習用端末」は授業の中やコロナ禍によるオンライン授業など活躍の場が増えてきております。日常的に使う機会が増え、先生方も学習用端末の扱う事への意識が高まっていると考えております。さらに、町教育情報委員会会議を定期的に行い、各学校及び教職員の ICT 活用度を把握し、使用するうえで教職員の困り度を共有し、最適な指導や取り組みを研究してまいります。

(4) から (6) は省略させていただき、(7) 特色ある教育の推進については、6 項目ありますが、このうち中学生海外研修事業につきましては、令和元年度から令和 4 年度まで、4 年間新型コロナウイルスの影響により実施出来ておりませんでした。今年度は久しぶりに実施する方向で準備をしております。

(8) その他では、国の補助金及び交付金を活用して、学校における換気対策整備支援ということで、サーキュレーターを購入や、換気のために網戸が設置されていない窓に網戸を設置するなどの対策を行う予定となっております。

#### 〈岩波補佐〉生涯学習系の説明

「1」の「ねらい」についてでございますが、実際生活の中から湧いた興味、関心、意欲を自ら進んで「学び」の機会につなげ、仲間と親しみ合い、交流を深め合い、学び合いを続けることで、豊かな心を育み、個性の伸長と生きがいを感じる生活を送るとともに、社会の中で成果を活かした自己表現ができる「生涯学習社会」の実現を目指します。

そして、実現に向け、「学び」のきっかけづくり、「町民ひとり一生涯学習」の推進、学習活動への支援と育成を通じて、社会教育・生涯学習の振興を図ってまいります。

「2」の「指導の重点」でございますが、「(1)「学び」の機会の創出」では、特に「イ」、情報通信技術 (ICT) の活用で、さらなる「学び」の場と提供の多様化を図ってまいります。また、「エ」の星ヶ塔遺跡の学習では、ひとつの成果として、仮の題名ではございますが、「キラリと光るおてんとう様のかげら」と題する紙芝居を製作し、「学び」のきっかけに資するとともに、長野県社会教育研究大会の全体会の研究発表につなげてまいります。

「(2)「学び」の啓発」では、「ウ」の人権教育、「エ」の子どもの読書活動の啓発を図ってまいります。

「(3)学習活動への支援」では、「ア」の町民総合文化祭を団体等の交流、創造、発展が図れる場とすることで、また「イ」の「未来へつなぐ歴史文化伝承事業補助金」、「ウ」の「身近な講師」により、活動を支援してまいります。

「(4)施設の整備と利用の促進」では、子育て家庭や青少年も気軽に学び合いができる環境の整備に努めてまいります。

「3」の「公民館・勤労青少年ホーム」では、特に二つ目のポツ、オンラインによる講座等の実施及び配信、情報通信技術の理解と実践に資する講座等の開催を通じて誰もが、いつでも、どこでも、デジタル社会の恩恵を受けることができるデジタル社会の実現に取り組んでま

います。

「4」の「総合文化センターホール」では、三つ目のポツ、大規模改修を利用者にとって安全に、運営者にとって安心して利用することができる施設とするため、町財政と他の施策に配慮して実施をいたします。

#### 〈平林係長〉図書館の説明

図書館では例年のとおり、情報提供や諸資料の収集、情報機器の活用と充実に努め、図書館が生涯学習の情報センターとして機能するよう努めてまいります。

次に昨年8月から開始されている電子書籍貸出サービス「デジとしょ信州」への連携と協働ということで、居住地や年齢、障がいの有無にかかわらず、いつでも、どこでも、無償で良質な情報にアクセスできる環境を充実させ、誰もが主体的に学ぶことのできる社会づくりに寄与していきたいと考えています。

「子ども読書活動推進計画」の実践、生涯読書の環境づくり、町民のつどう場所づくりの3点につきましては、昨年と同様となっております。

こども未来バスの活用として、2019年12月に図書館前に設置された「こども未来バス」は、公園や図書館に来る子どもたちの飲食スペース・語らいの場として活用していたが、コロナ禍により利用がほぼできませんでした。今後は「こども未来バス」に関連した事業を企画実施し、利用の場を増やして行く予定です。

新型コロナウイルス対策として、図書館は不特定多数の利用者にご利用いただく場所なので、適切な措置により対応し、来館者・職員の双方に感染の不安を残すことのない対策を講じていきます。図書館内の防犯対策につきましては現在、故障中である防犯カメラの増設とシステムの新規購入により、より安心・安全な図書館を目指していく予定となっております。

#### 〈塚原補佐〉スポーツ振興係の説明

第3期下諏訪町スポーツ推進計画に基づき、町民の体力向上、健康増進、いつでもどこでも気軽にスポーツに取り組める環境づくりと地域の活性化を図ってまいります。また、スポーツ推進委員、NPO下諏訪町スポーツ協会ほか各種団体と連携して、町民へのより一層のスポーツの普及を図ります。

昨年に引き続き、4月29日をはじめ、6月～7月、秋頃にかけて、体育館が新型コロナウイルスのワクチン接種会場となり施設の利用が一部制限されますが利用者が安全かつ快適に利用できるよう努めます。令和5年度は、体育館内のエレベーター昇降機内劣化部品の修繕、アリーナ非常警報設備の修繕、自動火災報知設備の修繕など、定期点検における指摘事項及び老朽化による箇所の修繕を行います。

また、指定避難所になっている下諏訪体育館につきましては、5月に非常用電源改修工事に伴う設計監理業務の入札を行います。

本年度、9月30日、10月1日に開催予定の全国市町村交流レガッタ下諏訪大会につきましては、町制施行130周年事業と位置づけ、民公協働により準備を進め、すでに全国市町村交流レガッタ下諏訪大会実行委員会を2回開催しました。ゴールデンウィーク明けには、各専門部、総務、サミット部会・おもてなし部会・施設部会を開催し、検討課題や運営方法を精査し、地域住民を含めた賑わいのある大会や諏訪湖の活性化を図ってまいります

諏訪湖活用推進事業については、諏訪圏ものづくり推進機構の企業プログラムのツールとして、湖畔の健康スポーツゾーンを活用したスポーツの体験を5月17日に下諏訪ローイングパークで開催します。本年度は、昨年に引き続きボートの乗艇研修及びエルゴを11クルー、44名が参加します。また、健康サポート係と連携し、健康スポーツ教室の開催などスポーツを通じた健康増進に資する事業を展開してまいります。

交流事業につきましては、オリンピックレガシー事業の一環として、アルゼンチン・イタリア両国とは、仲介役としてご協力いただいている担当者と打ち合わせを行いながら、ボートを軸として可能性を広げ交流の具現化を図ってまいります。

そして、ミズノスポーツサービスと連携協定によるスポーツ教室を計画しております。

#### 〈田中係長〉健康サポート係の説明

健康サポート係では、スポーツ振興係と連携し、町民の皆さんの運動や健康づくりへの意識の向上を図り、下諏訪町総合計画に掲げる「健康長寿のまちづくり」を目指します。そのために、諏訪湖畔に点在する、健康ステーション・健康フィールド・高浜健康温泉センター「ゆたん歩<sup>o</sup>」の適正な管理を行うとともに、多くの皆さんにご利用いただき、健康増進に繋げていただくための施設運営に努めてまいります。

また、こういった施設や、健康スポーツゾーンを活用した多種多様な健康運動講座の開催や、施設や講座に足を運ぶことが難しい皆さんに対し、各自で取り組むことのできる健康づくりに関する情報発信を行います。さらに、専門的な知識と経験をお持ちの「健康サポーター」の皆さんにもご協力いただきながら、地域の皆さんの自発的な運動習慣の形成を支援してまいります。

質疑なしー承認

#### (2) 議案第35号 令和5年度・6年度下諏訪町公民館運営審議会委員の委嘱について

##### 〈岩波補佐〉説明

任期満了に伴う、公民館運営審議会委員の委嘱をお願いいたします。

出身母体である団体の役員変更により、3番の山田孝實区長会会長、5番の小日向和彦民生児童福祉委員協議会代表、6番の山岸哲也小中PTA連合会会長、7番の小口俊吉音楽団体代表、令和4年度音楽祭実行委員長、8番の小口誠美術会代表、令和4年度作品展実行委員長の5名の方が新任となります。なお、任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間でございます。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

質疑なしー承認

#### (3) 議案第36号 令和5年度分館長、副分館長及び分館主事の委嘱について

##### 〈岩波補佐〉説明

名簿にございますとおり、各区の区長を通じて、分館長、副分館長及び分館主事が推薦されました。つきましては、「下諏訪町公民館分館規則」第5条第2項の規定により、委嘱をお願いいたします。ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

##### 《瀬切委員》

第7区の分館主事について、この度、町会議員になったが特に問題はないか。



〈岩波補佐〉

議員と公民館を兼ねることは特に問題はないです。あくまでも分館は地域の活動が主になります。区長さんを中心に選んでいただいた方なので特に議員だからということで問題があるということはありません。

質疑以上—承認

## 5 報告事項

(1) 令和4年度図書寄贈の報告について

〈平林館長〉説明

寄贈者数は164件、内訳は個人が43件、団体が121件です。寄贈冊数は388冊で、これは過去と比べるとほぼ横ばいとなっている。令和元年度がかなり多いのですが、この時は、持ってきていただく数に左右されるようになりますので。寄贈図書の受入れですが、令和元年度は1,269冊、令和2年度は1,006冊、令和3年度は974冊、令和4年度は779冊ですが、こちらは購入による受け入れ以外のものということになりまして、例えばRe本というのをやっているのですが、ぜひ自分のいらなくなった本を他の方、必要な方にあげてくださいという形でお持ちになる方がいらっしゃるんですが、その中からこちらの方でも図書館に残しておきたい本とかというのを受け入れという形でさせていただいたりしております。令和元年度からちょっと減少方向にはあるのですが、こちらの方は場所の問題とか、本当に必要な本かということでさらに厳選をさせていただくようになりましたので、その結果、減少傾向となっております。

質疑なし—了承

(2) 令和5年度下諏訪町教育委員会会計年度任用職員の雇用について

〈平澤係長〉説明

令和5年4月1日現在の教育委員会で雇用をしている会計年度任用職員は、総勢147人となります。係別に説明しますと、教育総務係で32名。内訳は、中間教室指導員が1人、学校事務・学校司書・学校業務員は、各学校に1名ずつ配置、計12名。相談員が4名、特別支援教育支援員が15名となります。

続いて、子育て支援係ですが、総勢95名になりまして、児童家庭相談員が1名、事務局事務員が2名、保育に関わる職員が54名、子育てふれあいセンターに5名、せせらぎ園に4名、両校学童クラブの支援員で29名といった体制となります。生涯学習係では総勢5名で、内訳として教育支援員が2名、土日祝日の文化センター窓口業務に3名の職員が日替わりで在籍しております。健康サポート係では、健康施設の窓口業務に2名、高浜温泉健康センターに2名の計4名となります。図書館では司書11名となり、以上147人の体制となります。

質疑なし—了承

(3) 保育園児数の推移について

〈森下主査〉説明

こちらの表は、今年度から過去10年の平成26年度から各年4月1日現在の園児数を記載したものと なっています。この期間中では、平成26年度の473人をピークに減少が続き、今年度は362人で、前年比では39人の減となっており、少子化傾向が現れております。その反面、各年度

の合計欄の上に未満児の欄がありますが、未満児数は、早くから保育園に預けられる家庭が増えて  
いる傾向があり、今後も増えて行くものと考えられます。今年度も待機児童を出さずに運営を行っ  
ておりますが、引き続きより良い保育環境に努めてまいりたいと思います

質疑なしー了承

(4) 令和5年度下諏訪町スポーツ推進審議会の欠員に伴う後任委員の委嘱について

〈塚原補佐〉説明

スポーツ推進審議会は推進に関する計画について調査・審議を行う機関として設置し、任期  
は2年、令和6年3月末をもってその任期を満了となります。4月5日に下諏訪町のスポーツ  
推進委員会の委員辞令交付式終了後に第1回の下諏訪町のスポーツ推進委員会定例会議で改め  
て会長、副会長について委員の中から互選により定めることになっております。その中で恒例  
によって、前任の後任者には、副会長を推薦するという下諏訪町スポーツ推進委員の皆様方の  
意見により本日の定例教育委員会での報告事項で副会長の宮坂直子さんを1年間の期間ですけ  
ども、残留期間として、4月1日付けで遡及をさせていただきたいということで、ご理解して  
いただきたいと思います。

質疑なしー了承

(5) 高浜健康温泉センター 温泉ポンプ修繕の完了について

〈田中係長〉説明

それでは、2月定例教育委員会において、補正予算の関係でご審議いただきました、高浜健  
康温泉センター「ゆたん歩<sup>o</sup>」の温泉ポンプ修繕の完了についてご報告いたします。

資料は52ページでございます。今回の修繕は、温泉タンクから浴場等に温泉を送る加圧ポン  
プに不具合が生じたため、その一式を交換したものでございます。施工業者は杉村設備、請負  
金額は148万5千円で、3月28日（火）の休館日に作業を実施しました。現在は不具合も解消  
され、問題なく稼働しております。

質疑なしー了承

(6) 町内小学校における「運動会必勝塾」の開催について

〈田中係長〉説明

それでは、町内小学校における「運動会必勝塾」の開催についてご報告いたします。

資料はございません。来月5月18日（木）、南小・北小両小学校において、1年生を対象  
として、「運動会必勝塾」と銘打った走り方教室を開催します。当事業はミズノスポーツサー  
ビスへの委託により、運動会前の特別事業として行っているもので、今年度で3回目になりま  
す。ミズノの有識者の指導により、かけっこで速く走るためのフォームや体の使い方などを学  
びます。運動会を目前に控えた子どもたちのモチベーションアップにも繋がればと思います。

質疑なしー了承

(7) その他ーなし

## 6 その他

〈平澤係長〉

次回の5月定例教育委員会ですが、5月19日(金)15時30分からでお願いしたいと思えます。よろしくお願ひいたします。

〈藤澤職務代理〉

防災ネットワーク下諏訪が向陽高校の2年生190名を対象に、今度5月18日(木)に講座を行うということです。市民新聞にも掲載されてるんですけど、五つのグループに分けて、体験するみたいで、土のう作り、担架作り、車椅子のけん引体験、防災食学習。災害用のトイレ学習で、聞ってる限りでは、15分を目安に回るといふ企画をしているようです。向陽高校の方からやって欲しいという依頼があったとのこと。

## 7 閉会 午後5時00分終了

以上、会議の経過を記して、その相違ないことを証するためここに署名する。

令和5年5月19日

署名委員 網野 美秀

署名委員 木村 一恵

調整職員 北澤 勝己